# 2022 年度　第 1 回 5 月 早慶上理・難関国公立大模試　地理 B　採点基準

## 1　単答記述問題

① 誤字，脱字，漢字間違いは０点。
② 漢字で書くべき用語（例：扇状地）をひらがなで書いてある場合は０点。
③ 日本の地名（例：茨城県）については漢字で正確に書かれていなければ０点。
④ 中国・韓国の地名（例：ペキン（北京））については，漢字・カタカナのいずれかで正しく書かれていれば正解とする。
⑤ その他の地名や地理用語について，スロヴェニア⇔スロベニア，パキスタン⇔パーキスターンといったカタカナ表記の通念の範囲内での異体に関しては正解と認める。

## 2　論述問題

以下の設問別加点基準で加点（その他各問題の主旨に適した解答には，適宜加点。ただし，満点は越えない。）
↓
以下の共通減点要素で減点

共通減点要素
① 加点要素に関わる誤字脱字および漢字の間違いは１点減点。
② 字数オーバーは０点
③ 明らかに文章の構成が誤っている場合，論理が合わない場合などは１点減点。
④ 指定語句に下線をつける問題で，下線が引き忘れてある場合は１問につき１点減点。
（指定語句は，解答中のどこかで使用していればよい。
加点ポイントの脱落による減点がある場合は，指定語句抜けの減点は不要。）

（＊減点しなくていい要素，その他の注意）
① 加点要素以外で誤った記述があった場合，その部分は０点だが，減点はしない。
② 文章が未完のものは減点しない。
③ 以下の基準における加点項目は，内容的に整合性が取れていればよく，字句の順序や表現は必ずしも完全に一致していなくてもよい。

## 3　採点記号

| | | |
|---|---|---|
| 1 | ＜□□□□＞ | **加点ポイント** |
| 2 | □□□□× | 事実に誤認あり |
| 3 | □□□□? | 文意不明 |
| 4 | □□✔□□ | 誤字あり／脱字あり |

## 4　設問別加点要素

1）＿＿＿＿＿部分は必須キーワードであり，この表現がなければ加点しない。その他は同義であれば加点する。
2）○○／△△　は「○○でも△△でも可」を意味する。
3）「②（①の説明として）」は，加点ポイント①を正解していなくても，加点ポイント②に該当すれば加点する。
4）「　A　」と「　B　」→１点　は，「　A　」と「　B　」の両方の要素があれば１点加点する。

2

問３　マイクロファイナンス　→２点
※小口金融／小口融資／マイクロクレジット／マイクロインシュランス　→△１点

問５　５点
バブル崩壊後の不況で内需が低迷する一方，貿易摩擦対策で始まったＢでの現地生産が円高の進行で拡大したうえ，成長するアジア諸国への生産移転も進んで輸出が減少した。
【加点ポイント】
★「Aは日本」「Bはアメリカ合衆国」だが，別の国名が書いてある場合は０点
①　Ｂでの現地生産が盛んになった／Ａの自動車工場がＢに移転した　→２点
（※「Ａが自動車の輸出を減らすために減産した」のみ　→１点）
②（①の背景）貿易摩擦／日米貿易摩擦／Ａの貿易黒字への批判が高まった　→１点
③（①の背景）円高　→１点
③（その他の背景）・Ａでのバブル崩壊後の不況
・Ａで内需が低迷
・アジア諸国への生産移転が進んだ
} いずれかで１点

問８　２×２＝４点
Ｂ：ケ　Ｅ：カ
（Ａ：キ）
設問では**B**を問いましたが、解答用紙に不備があり**A**となっていましたため、解答用紙の**A**はキとケのどちらでも得点付与とします。この度は混乱をお招きし大変申し訳ございません。

4

問１　Ａ：ハングル／ハングル文字　→２点
Ｃ：ウイグル族／ウイグル民族／維吾爾族／ウイグル人／ウイグル　→２点
Ｄ：コワントン省／カントン省／広東省　→２点

問５　５点　※[指定語句]　ラサ　シーニン　インフラ　３つ全て　下線付きで使用
ラサとシーニンを結ぶ青蔵鉄道の敷設など，インフラ整備を主とする西部大開発の推進で，

自治区内に漢民族の流入が増えたため。
【加点ポイント】
①（民族間衝突の理由）漢民族の流入が増えた／漢民族との衝突が増えた
／漢民族の観光客が増えた／漢民族が経済を支配する　→２点
②（①の背景）西部大開発　→１点
③（②の内容）・ラサとシーニンを結ぶ鉄道の敷設／青蔵鉄道の敷設
・インフラ整備
・資源開発／電源開発
} １つ１点　２点まで